

目次

□巻頭言 思いつくまゝに……………網 干 寿 夫 / 1
 東京湾岸道路の整備状況……………松 野 一 博 / 2

グラビヤ—東京湾岸道路工事

九州縦貫自動車道の工事概況と
 土工計画における特殊問題……………政 野 光 男 / 7
 北陸自動車道の除雪対策……………大 山 森 俊 二 / 14
 木曾川用水事業の計画と現況……………藪 亀 淳 夫 / 18
 真名川ダムの施工設備……………伊 集 院 敏 / 24
 □随 想 機械開懇の思い出……………永 盛 峰 雄 / 32
 水陸両用掘削機の開発……………梅 田 亮 尚 / 34
 へドロ浚渫装置の開発……………桑 垣 悦 夫 / 38
 富 士 野 昭 典

公害測定用機器の現況
 1. 建設騒音・振動測定機器……………田 中 康 之 / 42
 2. 水質測定用機器……………安 中 徳 二 / 45
 3. 大気汚染計測器……………今 上 一 成 / 47
 第4回路外車両国際会議に出席して……………増 田 正 三 / 54
 昭和47年度建設機械展示会雑感……………高 井 照 治 / 56

□部会研究報告
 建設機械用ディーゼル機関の
 補機類の問題点の調査研究報告……………ディーゼル機関技術委員会 / 62
 □建設機械化講座 第110回 現場フォアマンのための土木と施工法
 XVII. 建設機械概説
 3. ショベル系建設機械(その5)……………田 中 成 一 / 67

□研究所巡り
 農林省農業土木試験場……………山 崎 善 雄 / 73
 高 橋 木 重
 日本舗道技術研究所……………鈴 貫 太 郎 / 76
 柴 田 吉 蔵

□新機種紹介
 軟弱地盤用特殊作業車……………猪 股 登 / 79
 □建設機械化研究所抄報 No. 88
 261. 特殊電機 PL-80 形振動プレート性能試験…………… / 80
 262. 川崎重工 KLD 70 形車輪式トラクタショベル性能試験…………… / 80

□文献調査
 精度を要する堤防のり面アスファルト舗装……………広 報 部 会 文 献 調 査 委 員 会 / 83
 直読式小形ベンセン断試験機……………広 報 部 会 文 献 調 査 委 員 会 / 85

□文献抄訳
 高層ビル鉄骨フレーム大形ブロック架設工事……………沢 伊 藤 正 / 86
 ニ ュ ー ズ……………(編 集 部) / 88
 行 事 一 覧…………… / 89
 編 集 後 記……………(内 田 ・ 布 施) / 90

◀表紙写真説明▶

水資源開発公団

木曾川大堰(馬飼頭首工)

施工: 前田建設工業株式会社

木曾川大堰は木曾川用水下流域地域の取水施設として木曾川河口から上流約26km地点に建設するもので、岩屋ダムとともに木曾川総合用水事業の中核をなすものである。建設地点は計画洪水量 15,000 m³/sec、堤防間距離 735 m という大河川の縮切であるので、非出水期間(当該年の10月1日~翌年5月10日)において左岸側より4回にわたり縮切を行ない、順次施工する。昭和45年11月着工以来現在までに2期工事を完了し、予定どおり進捗している。

写真は昭和47年5月、第2期工事の仮縮切撤去直前のものである。

<木曾川大堰工事概要>

発注者: 水資源開発公団
 施 工: 前田建設工業株式会社
 位 置: 左岸・愛知県中島郡祖父江町大字馬飼
 右岸・岐阜県羽島市桑原町前野
 形 式: 全可動堰、鉄筋コンクリートフローティング
 延 長: 堤防間距離 735 m
 上部工: 土砂吐 27 m × 2 門
 洪水吐 40 m × 12 門
 舟通し 2 箇所
 魚 道 3 箇所
 基礎工: 鋼管ぐい φ600~1,000 mm, l=37~44 m
 RC ぐい φ350 mm, l=5 m
 その他: 取水施設, 管理施設, 護岸工等一式